



一般社団法人北海道中小企業家同友会

## ゼロカーボン北海道研究会 会員募集のご案内

2021年8月6日

ゼロカーボン北海道研究会 発起人

鈴木 高士、大石 清司、小野 尚弘、相馬 督、武部 豊樹

このたび、同友会の新たな組織として「ゼロカーボン北海道研究会」を発会する運びとなりました。当研究会は、「創エネ」「省エネ」を切り口に、北海道発の「中小企業によるゼロカーボン型ビジネス」を創造することで、元気な企業の増加と雇用創出を行い、エネルギーシフトの実現と持続可能な地域づくりにつなげたいという目的を持って活動するものです。

今こそ道内中小企業の力を結集し、地域主導で再生可能エネルギーの創出、省エネルギーを推進し、ゼロカーボン社会実現に向けた技術開発および普及のための研究を行い、地域内及び北海道内における経済循環を実現させましょう。

当会では、会員の皆様に各種行事を通じて研鑽ならびに交流の場を提供します。ぜひともご入会くださいますようお願い申し上げます。

### 【入会資格および条件】

1. 一般社団法人北海道中小企業家同友会の会員または会員企業の役員であること
2. 年会費を期日までに納入できる方(年会費は12,000円(1社)を予定しています。)

### 【活動内容案】

1. 会員が関与する ①再エネ事業、②省エネ事業、③脱炭素関連事業の事例研究
2. 研究者、行政・金融・支援機関、企業、NPO等、外部の専門家を招いての研究
3. 国内外への研修・交流・視察
4. 研究・研修の成果をゼロカーボン北海道実現に向けたビジョンとして提起
5. 前各項の活動に附帯する事業



## ゼロカーボン北海道研究会 入会申込書

### 【申込方法】

入会をご希望の方は、本申込書に必要事項をご記入のうえ、メールまたはFAXでご送信ください。メールの場合は、本申込書の内容をメール本文に記載し、以下のメールアドレスまでご送信ください。

■FAXをご希望の方 011-702-9573

■メールをご希望の方 d-kamiya@hokkaido.doyu.jp

企業名			
役職		氏名	
所属支部名	支部	連絡先電話番号	- -
メールアドレス	@		

## 《活動予定》

・9月16日(木) 16:00～18:00

### 発会式(設立総会)

・応援プレゼンテーション

-自然エネルギー財団 シニアマネージャー 石田 雅也 氏

-CDP Worldwide-Japan シニアマネージャー 高瀬 香絵 氏

・事例紹介

-フロー株式会社 代表取締役 須藤 貴宣 氏

・10月8日(金) 13:10～15:30

### 全道経営者”共育”研究集会in苫小牧 第6分科会

・当研究会の発起人による事例報告を行います。

《ゼロカーボン型ビジネス、私たちの挑戦 ～創エネと省エネで明日を拓く～》

“「2050年までに脱炭素時代の実現を目指す」。これは21世紀を生きる企業にとって大きな課題です。豊富な再生可能エネルギーを賦存する北海道で、創エネ・省エネを通して新たな成長を目指す各社の取り組みから学びます。”

## 《例会企画案》

◇省エネ・創エネに関する基本的な知識や業界の動向

◇国、道、各自治体における方針・対策を知る勉強会

◇脱炭素経営に取り組んでいる企業の事例報告

◇Jクレジット制度の説明会

◇ZEH、ZEB

◇脱炭素経営×SDGs

◇脱炭素経営×DX

◇脱炭素社会に繋がるライフスタイルを考える

◇脱炭素経営に活用できる節税制度

※移動例会など一部を除き、会場参加かオンライン参加をご選択いただけます。

※例会の様子を録画し、視聴希望者に動画を配信する場合があります。(講師・報告者の許可が必要です。)

## 《発起人プロフィール》

### 興和工業(株) 代表取締役 鈴木 高士

登別で耐食FRP成形50年以上の実績を誇るFRP総合メーカーを営む。これまでに培った知識や技術を生かし、地域密着かつ環境配慮型である小水力発電施設の運営にチャレンジ中。運営にあたり、同友会会員や業界有識者と手を組み新法人を立ち上げた。

### (株)共同舎 代表取締役 大石 清司

本業は中古住宅・マンションの販売やリフォームだが、環境保全に強い関心を持ち、国内での導入事例も増えつつある営農型太陽光発電の取り組みをスタートさせる。

営農型発電とは… 農地の上空部分に太陽光発電パネルを並べて発電するなど、農業を営みながら発電を行うシステムのこと。地域内電力消費モデルとして注目を集めている。

### (株)大地とエネルギー総合研究所 代表取締役 小野 尚弘

北海道の未利用の再生可能エネルギー資源を、地域が主体となって活用し、地域内経済循環による持続可能性を高めることを目指し、その可能性調査や事業化の支援を行っている。

現在は、主に自然河川を利用した小水力発電及び農地や耕作放棄地等を有効利用した営農型太陽光発電の事業化を進める一方、生み出した環境価値が備わった電気を必要とするユーザーに届けるためマッチング事業の検討を進めている。

### (株)エルコム 代表取締役 相馬 督

世界初となる廃プラスチック固形燃料小型ボイラーを開発した。世界共通の悩みである環境問題を解決すべく、独自の技術開発力をもって環境負荷軽減に貢献する製品など、グローバルに発信する「ものづくり」を推進。SIMPLE ECOLOGYをテーマに、CO<sub>2</sub>削減・地球環境を癒す製品の開発に力を入れている。

### 武部建設(株) 代表取締役 武部 豊樹

「みどり豊かな北の大地には凍てつく空気と風雪に耐え時の流れに身を任す建物がある。」古民家再生と高断熱・高気密の高性能住宅を中核にした事業を行う。古材の利用は3R(リデュース・リユース・リサイクル)の思想とも一致。環境問題が世界的課題となっている現在、これらはきわめて今日的意義を有している。